

# 事業概要シート

施策： 障がい者の自立支援の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 人工内耳体外機購入助成事業	現状維持	予算額	1,200 千円
			《 0 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	600 千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	600 千円

## 【事業の概要・目的・対象】

(目的) 人工内耳装用者のうち、旧式の体外機の使用により日常生活に著しい支障をきたしている者の生活を保障するため、体外機の更新費用の一部を助成する。

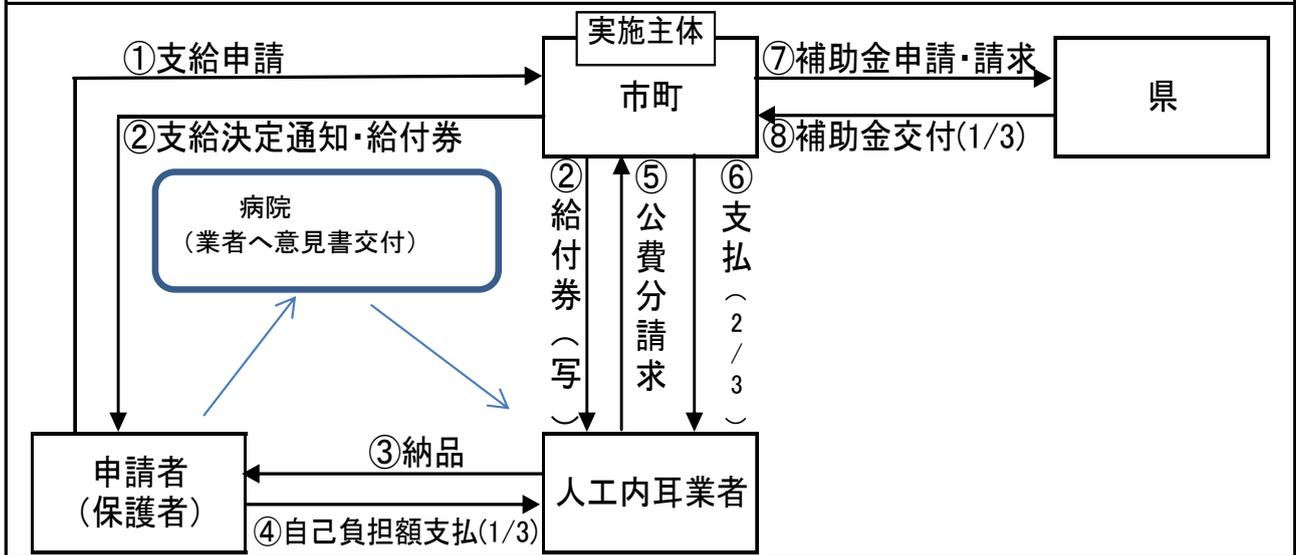
(対象者) 聴覚障害者手帳所持者で、使用中の体外機の購入又は更新から5年以上経過した者。  
 ※購入する体外機は保険適用外のものとする。  
 ※大村市対象想定者数 9人

(助成の内容)

事業期間 3年間(平成29年度から平成31年度まで)

補助基準額 60万円

負担割合 県1/3、市1/3、本人負担額1/3



## 【背景】

重度の難聴者(児)が使用する音声信号処理装置等の人工内耳体外機は、修理や交換の場合は医療保険が適用されない(修理不能の場合は医療保険適用)ため、交換せず聴こえを我慢したり、高額な費用を負担し交換している状況にある。【人工内耳体外機(スピーチプロセッサ) 約110万円】H27.2.20付けで長崎県難聴者・中途失聴者協会から県議会に請願書が提出され、採択されている。県と市で助成を行うこととなった。

担当課	福祉保健部 障がい福祉課	問合せ先	0957-20-7306
-----	--------------	------	--------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	申請件数	目標値 件		3	3	3	
②		目標値					

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	購入費助成件数	目標値 件		3	3	3	
②		目標値					

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費				1,200	1,200	1,200	3,600
国庫支出金				0	0	0	0
県支出金				600	600	600	1,800
地方債				0	0	0	0
その他				0	0	0	0
一般財源				600	600	600	1,800
人件費				301	301	301	903
職員				0.04人	0.04人	0.04人	0.12人
時間外勤務				5h	5h	5h	15h
嘱託員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト				1,501	1,501	1,501	4,503

妥当性 (市の関与)	県と協調して助成を行う事業であるため、市の関与の必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	人工内耳を装着している重度の難聴者（児）にとって日常生活（活動）が保障されることは、自立を促進するために有効である。
効率性 (コスト)	県で定めた基準額に則り、市でも補助を行う。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり